

NO 消費税

2026.8

第420号

発行 消費税をなくす全国の会

〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201
TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共) *1999年1月18日 第3種郵便物認可
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/> *2026年7月25日発行(毎月25日発行)



●目次●

- 会報も地道に拡大、若者結集へ努力…… (1)
- 私たちの思い…… (2)
- 暮らし、生業に役立つ経済教室⑬…… (3)
- スパイ防止法の第一弾…… (4)
- 東西南北(各地の取り組み)…… (6)
- エッセー 消費税を減税・廃止すれば、日本の社会に青空が顔を出す! / みんなの声…… (8)

「消費税は理不尽」の怒りが原動力



笑顔を見せる3人。右から斎藤さん、松島さん、猪股さん

会報読者を倍加

「そもそも消費税はお金のない

青森市の会は、毎月の世話人会、各界連との合同の宣伝署名活動、会報読者の拡大、2026年版パンフレット普及など、地道な活動が続いています。総会も近年は毎年開催。10人いる世話人のうち、女性3人が先頭に立って活動を引っ張っています。

草の根の活動から

青森・青森市の会
猪股 あや子さん 松島 友子さん 斎藤 恵子さん

会報も地道に拡大、若者結集へ努力

人からもむしり取る理不尽な税金。導入時から大反対だった。社会保障のためと言いながら社会保障は大改悪ばかり。本当に許せない。この怒りが活動の原動力」と、力を込めるのは斎藤恵子さん(84)です。2年ほど前から「なくす会」の活動に参加するようになりました。元民医連の事務職員で、社会保障担当の運動に長くかわり、消費税導入の際も反対運動に力を注いできました。「ノー消費税」を長く購読していた斎藤さんは青森市の会の総会に出席した時、要請に応じて役員を引き受けました。

元看護師の松島友子さん(77)は病院の婦長を経験し、最後はケアマネージャーも務めました。「毎日、新聞読みながら、高市政権に怒っている。介護保険にかかわって1人暮らしの人の大変さをずっと見てきた。どうやって生活していけばいいのか、ケアマネの集会ではみんな泣いていた。いま物価が高が続き、それに10%上乗せで消費税も自動的に増税される。はらわたが煮えくり返る思い」と怒っています。1年前、総会に出席した時「新しい世話人さん」と紹介され、「はて?」と思ったけど、いつの間にか役員になっていた」と笑います。

事務局を務めるのは、猪股あや子さん(76)です。15年ほど前、共産党の専従を退職し、「青森市で『なくす会』の活動再開を」と要請され、事務局長に。「全国の会の元事務局長の杵渕智子さんにもきていただいて、総会を開き、全国の会からの訴えに引っ張られてやってきました」と話します。

3人はもともと古い知り合い。「頼りになる姉御肌」の斎藤さん、「何でも相談できる」松島さん、「責任感が強い」猪股さん。信頼を寄せて相談し合いながら活動を進めてきました。

力を入れたのは、会報読者の拡大です。猪股さんが事務局長になった時の読者は50人ほどでした